

2004年 6月

いわき市立総合磐城共立病院

# 地域医療連携室だより



今日の医療環境は、一つの診療所や医院のみで患者さんの診断や治療経過観察が終了するまでの全てを行なうことは、難しくなっております。

こうしたことから当院では、平成9年度より患者サービスの向上と近隣の医療機関との連携を目的として、地域医療連携室を設置しております。

いわき市立総合磐城共立病院地域医療連携室登録医療機関(開業医)が地域医療連携室の窓口をご利用していただくことにより、患者さんの当院での受診待ち時間の短縮が可能になります。

ご紹介された患者さんの診療・検査結果につきましては、地域医療連携室から紹介医療機関に対して、ご通知をさしあげております。

また、病状が安定され、お薬のみで来院されている方や退院後などに往診が必要な患者さんについては、ご希望に応じて患者さんのご自宅に近い近隣の医療機関をご紹介致しております。

今後、地域住民に信頼され、より質の高い医療を提供できるよう、さらに努力を重ねて参りますので医療機関のご理解とご支援を心からお願い申し上げる次第でございます。

## 【いわき市立総合磐城共立病院 地域医療連携室】

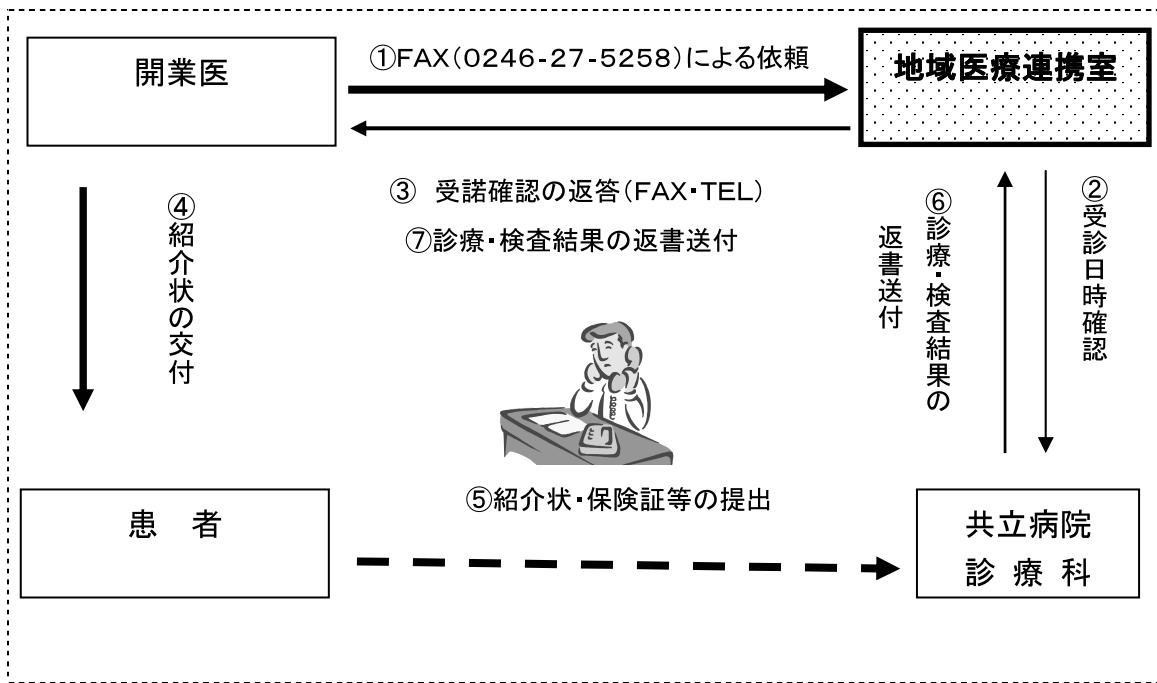
■ 電話 0246-26-3151 (内線 2034)

■ FAX 0246-27-5258

# 地域医療連携室のご利用方法について

当院の地域医療連携室は、次のとおり紹介患者の予約診療を受け付けております。

- (1) 受付時間：午前8時30分から午後5時00分まで
- (2) 申し込み：受診希望日前日の、午後3時00分まで
  - ①「診療依頼書(FAX用)」をご送付ください。
  - ②事前に診察券・カルテを準備いたします。



## ご登録医療機関と患者さんのメリット

### ■ 登録医療機関(開業医)

- ① 大病院志向回避による、患者数の増加(経済的なメリット)
- ② 紹介できる病院・医師を持つことによる、患者からの信頼度の向上
- ③ 大事な患者にとっての、医療の質の向上と利便性などサービスの向上

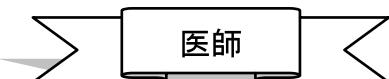
など、患者さんに対し、登録医と病院による密着した医療の展開が図られます。

## ■ 患者

- ① 優先的診察（待ち時間の短縮）
- ② 希望する医師の受診が可能
- ③ カルテ作成時間の短縮

など、患者さんに対する診療の利便性が向上し、待ち時間の短縮が図られる等、患者さんに優遇される仕組みとなっております。

## 平成16年4月新たに着任された先生紹介



診療科名	氏 名	職名
循 環 器 科	朴 沢 英 成 ほくざわ ひでなり	科長
耳 鼻 咽 喉 科	館 田 大 勝 たてだ だい まさる	科長
消 化 器 科	大 楽 尚 弘 だいらく なおひろ	科長
小 児 外 科	佐 藤 智 行 さとう ともゆき	医長
循 環 器 科	三 戸 征 仁 さんと まさひと	医長
外 科	小 山 淳 おやま あつし	医長
整 形 外 科	竹 谷 内 克 彰 たけやち よしあき	医長
内 科 (腎・膠原病科)	齋 藤 陽 孝 さいとう はるたか	医長
放射線画像診療科	爲 田 忠 信 ためた ただのぶ	医長
救命救急センター	新 井 谷 瞳 美 にいや むづみ	医長
神 経 内 科	水 野 秀 紀 みずの ひでき	医長

## **呼吸器科診療体制変更に伴うお知らせ**

診療医の減少により当分の間、呼吸器科の外来及び入院体制が制限されることになりました。

このため、経過良好な患者様や、遠距離より通院されている患者様には、転院先を担当医よりご紹介させていただいております。

また、新たな患者様につきましては、排菌結核患者様を除き、極力他病院での受診をお願いしております。

## **最近購入した高度医療機器について**

装置名	検査内容	検査によってわかる病気
<b>シンチレーションカメラシステム (RI検査) シンチグラム</b>	放射性同位元素ラジオ・アイソトープを用いた血流画像から、診断	臓器の位置、形態、大きさや、病巣の有無、血流機能などの情報が得られます。脳疾患・腫瘍等。
<b>マルチスライスCT(16ch) 装置 (CT検査)</b>	X線を用い、人体を輪切り、広範囲な部位の検査を短時間で精密な断層撮影・高精度の三次元立体画像撮影を行い、診断。	頭蓋内疾患・各種臓器の腫瘍など、全身のほとんどの部位の臓器の病巣が、画像から診断されます。



最後に

いわき市立総合磐城共立病院地域医療連携室は、2名体制で対応しております。ご紹介・ご入院などに要望・意見等がございましたら、地域医療連携室までご連絡いただきたいと思います。尚、情報は当院側からだけでなく、登録医からの情報も掲載し、地域医療連携だよりを地域医療に係る交流の場としていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。